

令和6年度 第5回 豊田市外国人住民意識調査アンケート結果報告書（概要版）

調査の概要

1 調査の目的

外国人住民の市政への評価とこれからのまちづくりに対するニーズや意識、生活実態を把握し、第3次豊田市国際化推進計画の施策の達成状況など市の国際化への評価とまちづくりに対する市民ニーズや意識を把握するとともに、次期国際化推進計画の施策立案や施策目標の設定等のための基礎資料とします。

2 調査対象

- (1) 調査対象：令和6年11月1日（金）現在、市内在住外国人で満18歳以上の住民（特別永住者除く）から抽出した1,500人
- (2) 抽出方法：無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、WEB調査による回答
- (4) 調査期間：令和6年12月17日（金）～令和7年1月15日（水）
- (5) 調査票の言語：ポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語
英語【すべての言語に日本語（ふり仮名つき）対訳付き】

3 調査項目

本調査における調査項目は以下のとおりであり、調査票の設問の順番に記載しています。

○回答者の属性に関するもの	7問
○日本での居住と家族について	5問
○日常の不安や人づきあいについて	5問
○日ごろの活動について	4問
○住みやすさとまちづくりの評価について	5問
○日本語能力などについて	5問
○仕事について	5問
○防災について	4問
○情報・サービスについて	4問
○消防・救急について	2問
○その他	2問

4 回収結果

- (1) 標本数 1,500人
- (2) 実対象者数 1,467人 標本数から未着（宛先不明で戻ってきたもの）を除いた数
- (3) 回収数 581票紙：274票、WEB：307票
- (4) 回収率 39.6%
- (5) 国籍別回収結果

国籍	標本数	未着	今回調査			（参考）前回調査（R2）		
			実対象者数	回収数	回収率	実対象者数	回収数	回収率
ブラジル	489	8	481	171	35.6%	532	272	51.1%
ベトナム	282	5	277	114	41.2%	248	114	46.0%
フィリピン	198	2	196	82	41.8%	179	107	59.8%
中国	177	4	173	68	39.3%	223	117	52.5%
インドネシア	98	2	96	55	57.3%	60	19	31.7%
韓国	17	0	17	10	58.8%	26	13	50.0%
ペルー	37	0	37	7	18.9%	57	16	28.1%
ネパール	42	0	42	19	45.2%	49	8	16.3%
ミャンマー	40	3	37	4	10.8%	13	5	38.5%
タイ	29	4	25	10	40.0%	36	12	33.3%
その他	91	5	86	31	36.0%	58	24	41.4%
国籍不明	—	—	—	10	—	—	6	—

※R2 標本数=1,500

(6) 比較調査

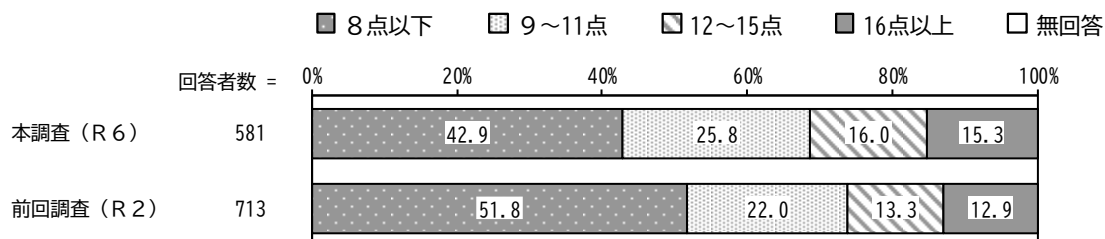
文中やグラフ中の「前回調査（R2）」は、令和2年11月1日現在、市内に外国人登録している満18歳以上の方を対象に実施した「第4回外国人住民意識調査」の調査結果を指します。

アンケート分析結果の抜粋（上記5関係）

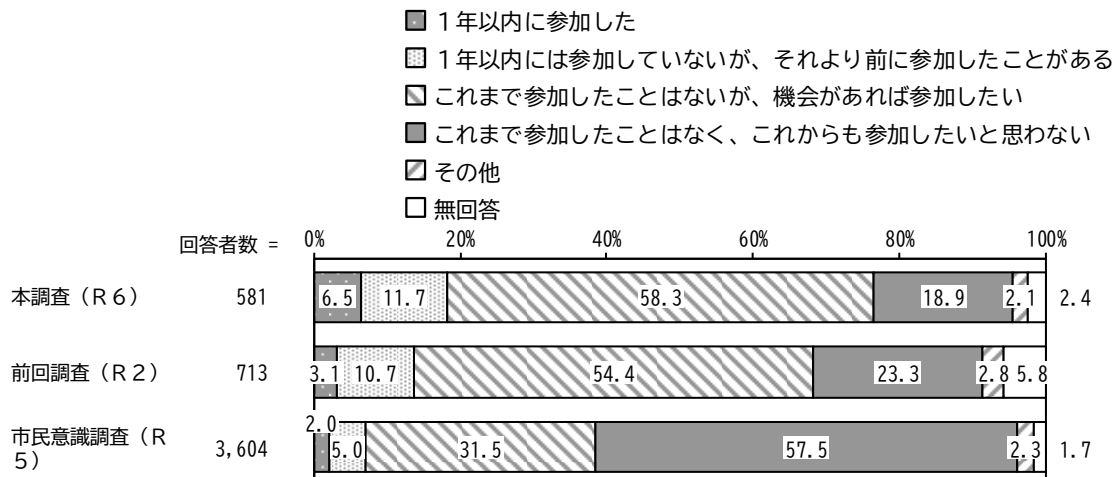
日本語能力総合点（4分類）

「聞く」「話す」「読む」「書く」のそれぞれの選択肢を、できる順に5点～1点と数え、4つの日本語能力の得点を合計しました。最低4点、最高20点で、点数が高いほど日本語能力が高いことになります。

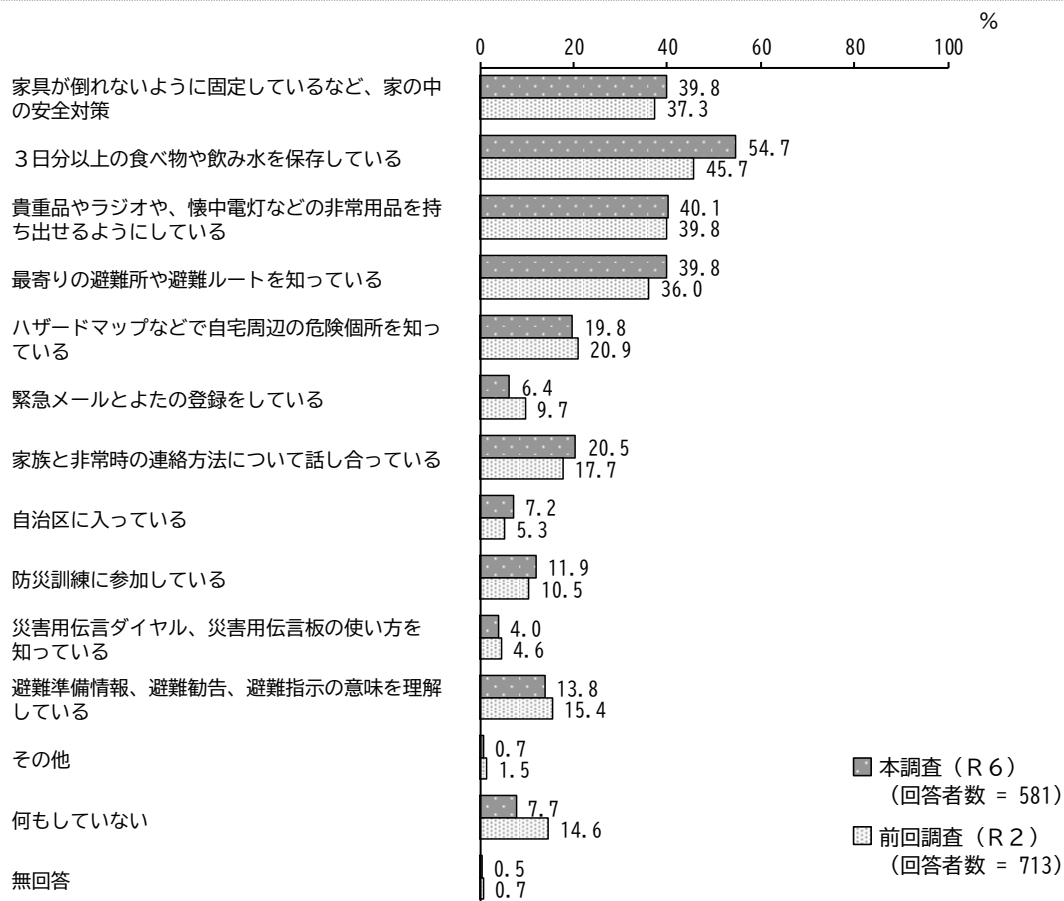
	1点	2点	3点	4点	5点
①聞く	あいさつや呼びかけが分かる。曜日・日付等が分かる。	簡単な日本語なら質問が分かる。	職場や家庭など日常会話が分かる。	車内放送や病院のアナウンスを聞いて必要な行動がとれる。	日本人と同じくらいできる。
②話す	あいさつ、名前が言える。出身や電話番号等基本的なことが単語で言える。	簡単な質問なら単語で答えられる。	質問に文で答えられる。簡単な感想を述べられる。	相手に説明を求めたり質問ができる。自分の経験やできごとなど、まとめた話ができる。	日本人と同じくらいできる。
③読む	まったく読めない、または、ひらがな、カタカナ、漢字で書かれた自分の名前などなら理解できる。	簡単な日本語で書かれていれば、日常生活でよく使われる語や文の意味が分かる。	自分で辞書を調べて日常生活でよく使われる文章（回覧板等）が理解できる。	自分で辞書を調べて日常生活であまり使われない文や文章が理解できる。	日本人と同じくらいできる。
④書く	まったく書けない、または、名前、国名、住所など、使用頻度が高い語をひらがな、カタカナ、漢字のいずれかで書ける。	人に助けをもらいながら、日常生活で必要度が高い手紙などの短いメッセージが書ける。	自分で辞書を調べて、履歴書の志望動機などが書ける。	自分で辞書を調べて、問い合わせメールなどが書ける。	日本人と同じくらいできる。



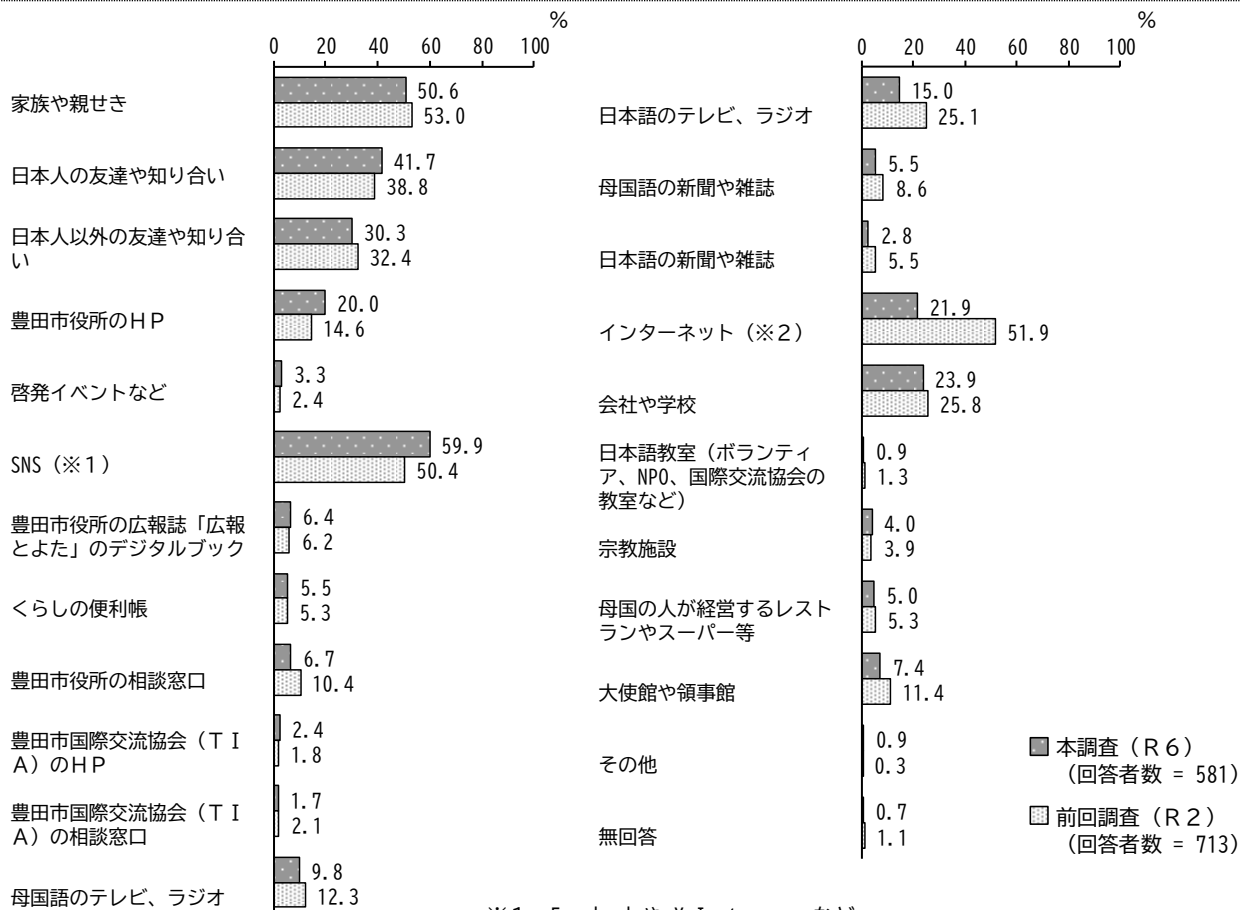
問 あなたは、豊田市内で開催された国際交流（イベントや講座）に関する活動に参加したことがありますか？（単数回答）



問 あなたは災害に対してどのような対策をしていますか？（複数回答）



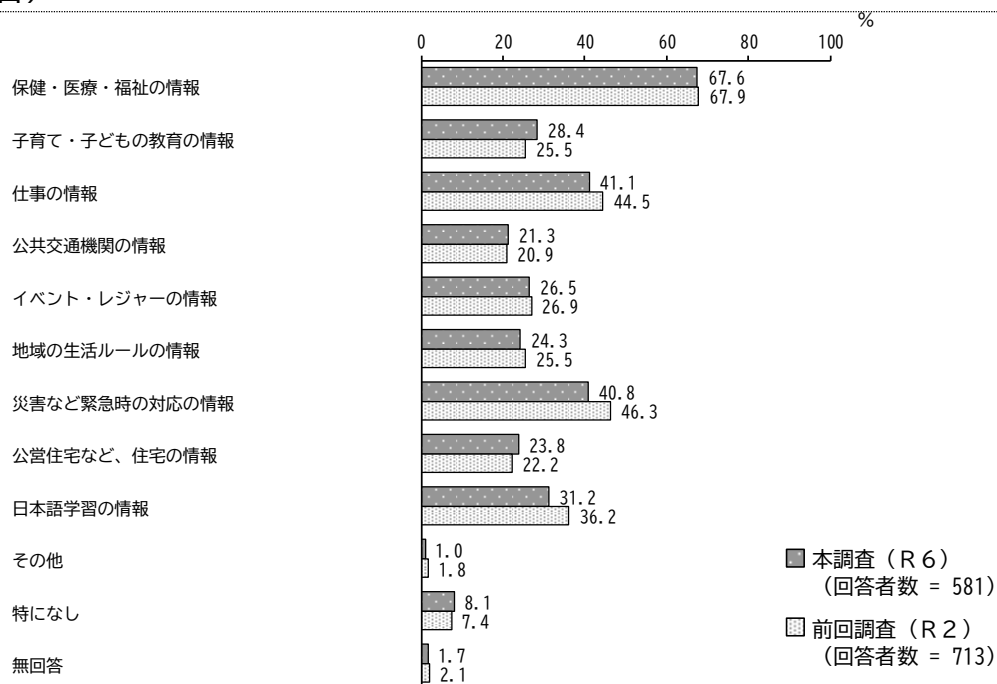
問 あなたは、生活に必要な情報を何で入手していますか？（複数回答）



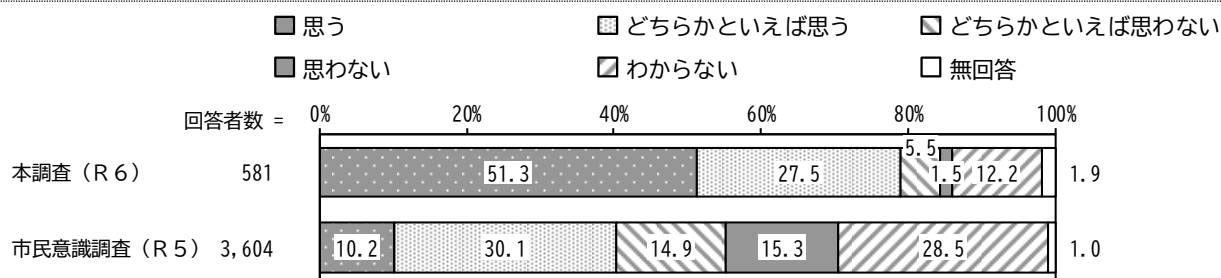
※1 Facebook や X, Instagram など

※2 豊田市役所のHP、SNS（Facebook や X, Instagram など）、豊田市役所の広報誌「広報とよた」のデジタルブック、豊田市国際交流協会（TIA）のHPを除く

問 あなたが充実してほしい、母国語（または自分がわかる言語）での情報は何か？
（複数回答）



問 あなたはデジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じますか？
（単数回答）



5 今回の調査で確認できた主な内容

（前回調査比で正負の傾向が顕著なものや新規設問などの主な結果）

- 日本語能力総合点（4分類）は、「8点以下」が42.9%と最も高いですが、前回調査よりも8.9ポイント低くなっています。
- 豊田市内で開催された国際交流（イベントや講座）に関する活動の参加状況については、「これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合が58.3%と最も高く、前回調査よりも“参加したことがある”が4.4ポイント高くなっています。また、市民意識調査と比較すると、“参加したことがある”は11.2ポイント、“これまで参加したことはないが、機会があれば参加したい”は26.8ポイント高くなっています。
- 災害に対する対策については、「3日以上以上の食べ物や飲み水を保存している」が最も高く、前回調査よりも9.0ポイント高くなっています。
- 生活に必要な情報の入手方法については、「SNS（FacebookやX, Instagramなど）」が最も高く、前回調査よりも9.5ポイント高くなっています。「日本語のテレビ、ラジオ」は前回調査よりも10.1ポイント低く、「インターネット（「豊田市役所のHP」、「SNS（FacebookやX, Instagramなど）」、「豊田市役所の広報誌「広報とよた」のデジタルブック」、「豊田市国際交流協会（T I A）のHP」を除く）」は前回調査よりも30ポイント低くなっています。
- 充実してほしい母国語での情報については、「保健・医療・福祉の情報」67.6%、「仕事の情報」41.1%、「災害など緊急時の対応の情報」40.8%などが高くなっています。前回調査よりも、「保健・医療・福祉の情報」が0.3ポイント、「仕事の情報」は3.4ポイント、「災害など緊急時の対応の情報」が5.5ポイント、いずれも低くなっています。
- デジタル化によって豊田市の行政サービスが便利になったと感じるかについて、“思う”の割合が78.8%となっています。市民意識調査と比較すると、“思う”の割合が増加しています。